

# ESRI User Conference

2023 Esri UC 体験記

法政大学大学院 今井 隼人

## はじめに

この度 第12回 Esri young scholar awards を受賞いたしました。このような栄誉ある賞をいただけたことを心より嬉しく思います。さらに、受賞者として世界各国の GIS 関係者が集まる Esri User Conference (UC) に招待していただきました。UC では最先端の GIS 技術に触れたり、各国の研究者と議論を交わしたりと、とても貴重な経験をすることができました。一連の体験をここに記します。



↑会場のサンディエゴ・コンベンションセンター

## 開催概要

UC は世界最大級の GIS に関する国際会議です。世界中の GIS 関係者が集まり、様々なセッション、セミナー、展示、交流イベント等が開催されます。毎年、米国サンディエゴで開催され、今年で 43 回目の開催となります。今年の会期は 2023 年 7 月 10 日から 7 月 14 日で、その間に約 18,000 人が参加しました。



↑会場の様子



↑会場の様子



↑ArcGIS Indoorsによる会場地図

個人的に驚いたのが、UC のためのアプリが開発されていることです。このアプリケーションを用いることで、UC に関する情報収集はもちろん、スケジュール管理や会場周辺の地図の閲覧が可能です。アプリに搭載されている地図は ArcGIS Indoors によって作られており、とても高い機能性を有しています。例えば、参加したいセッション名を検索すると、地図上にセッション会場が示されます。会場で迷ったときに大変便利でした。

建物や階を切り替えて会場地図を表示することができる。またセッションやイベントを検索すると、その会場が地図上で示される。現地で会場を探す手間が省けるため、非常に便利。

## Plenary Session

UCは創業者のJack Dangermond 氏の講演を含む、Plenary Session（全体セッション）から始まりました。ArcGIS の新機能の紹介や、各国の最先端の GIS 活用事例の紹介等がありました。どの発表もスケールが大きく、聞いているだけでワクワクするような内容でした。



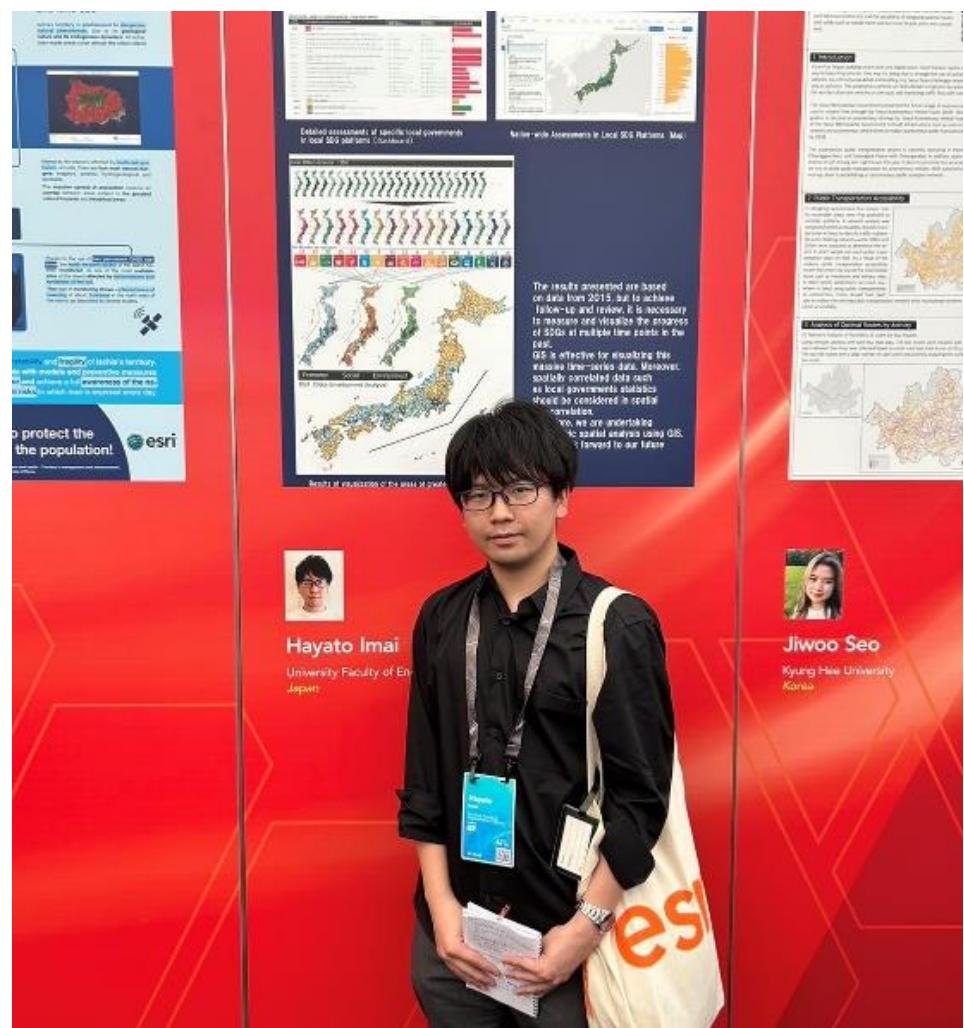
↑ Plenary Session の様子



↑ 企業展示の様子



↑ SDGs に関するセッションの様子



↑ マップギャラリーへ出展したポスターと筆者

## 研究内容の発表

今回の受賞内容をマップギャラリーに出展しました。マップギャラリーには作品の出展者が一堂に会し、各々のマップについて発表・議論を行うコアタイムが設定されています。コアタイムでは、私の発表に対して日本国内の成果発表の場とは比にならないくらい多くの人に興味を持っていただきました。積極的に質問してくださる方が多く、とても充実した議論が交わせたように思います。中には、私と同様の研究テーマに取り組んでいる方もおり、多くの気づきを得ることができました。

また、展示区画が同じだった各国の Young Scholar Awards の受賞者たちと交流しました。皆、同年代ながら研究内容や発表のレベル、さらにはコミュニケーション能力が非常に高く圧倒されましたが、同時にとても良い刺激となりました。



↑Esri 創業者 Jack Dangermond 氏と各国の受賞者たちとともに

## 授賞式への参加

授賞式では、受賞の祝辞を頂いた後、記念のトロフィーを手に、Jack 氏や各国の受賞者とともに写真を撮影していただきました。大勢の聴衆の中、壇上に上がる瞬間は非常に感動的でした。



↑ミッドウェー・ミュージアム 戦闘機の展示



↑コロナド ヨットが群れを成す景色

## 観光・その他

UC の終盤には、サンディエゴの観光名所の 1 つである国立公園、バルボアパークを貸し切って開催されるパーティがあります。パーク広場には屋台が立ち並び、四方八方に設けられたステージではミュージシャンやダンサーによるパフォーマンスが絶え間なく行われていて大変賑やかでした。同時に、パーク内の美術館や博物館が解放されており、展示を鑑賞しました。

また、滞在中様々な場所を訪れました。ミッドウェー・ミュージアムは、アメリカ海軍の空母ミッドウェーを改修した博物館で、館内にはたくさんの戦闘機の展示がされています。また、リゾートエリアであるコロナドでは、大量のヨットが群れを成す景色や、限りなく広がる太平洋のオーシャンビューといった、非常に美しい光景をいくつも見ることができました。



↑バルボアパーク 恐竜と DJ



↑バルボアパーク 煌々と輝くステージ

## 結び

UC への参加を通して、世界では GIS が非常に盛り上がっている分野であることを実感しました。今後の研究に生かせる知見を多く得ることができ、非常に有意義な経験となったように思います。さらに、今回の UC 参加が私にとっての初の海外渡航で、GIS に関してもそれ以外多くのことを学ぶ機会となりました。このような恵まれた機会を頂いたことに恥じないよう、より一層研究活動に取り組みます。最後に、受賞から現地の行動まで手厚いサポートをしていただいた Esri ジャパン社の皆様、研究活動を支えてくださっている川久保俊教授、川久保研究室の皆様に心から感謝申し上げます。